

第14回全国市議会議長会研究フォーラム

立志会 小林 昭弼

開催概要

日 時

第1日目：令和元年10月30日（水）

13：00開会（会場・受付 12：00）

第2日目：令和2元年10月31日（木）

9：00開会（会場8：30）

場 所 高知ちばさんセンター（高知県高知市布師田3992-2）

意見交換会場：ザクラウンパレス新阪急高知

主 催 全国市議会議長会

後 援 総務省

実 施 第14回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

タイムスケジュール

第1日目：10月30日（水）【会場：高知ちばさんセンター】

12：00 開場・受付

13：00 開会式

13：20 第1部 基調講演

【現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性】

中島 岳志 氏 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授

14：20 休憩

14：40 第2部 パネルディスカッション

【議会活性化のための船中八策】

コーディネーター 坪井 ゆづる 氏（朝日新聞論説委員）

パネリスト 高部正男 氏（市町村職員中央研究所学長）

横田響子 氏（株式会社コラボラ代表取締役）

古川康蔵 氏（高松丸亀商店街振興組合理事長）

田辺 剛 氏（高知市議会議長）

16：40 次期開催地挨拶

16：50 終了

18：00 第3部意見交換会【会場ザクラウンパレス新阪急高知】

19：00 終了

第2日目：10月31日（木）【会場：高知ちばさんセンター】

8：30 会場

滝沢一成 氏（上越市議会議員）

◆ ホワイトボードミーティングの手法を取り入れ、対話を通じた議論の活性化を図るとともに、議論の見える化により「市民に関心をもってもらおう、理解してもらおう」「女性へのアプローチ」の観点で、早急に取り組む7点を選出した。

- 1、議会傍聴の改革
- 2、模擬議会、議会体験学習の実施
- 3、意見交換会の改革
- 4、広報PRの充実
- 5、選挙マニュアルの作成
- 6、議員報酬の適正化
- 7、女性フォーラムの開催

見える議会・魅せる議会は、住民協働力・行政との対峙力・立法力・情報収集発信力の揃った議会あり議会改革推進が一番重要。

久坂くにえ 氏（鎌倉市議会議長）

◆ 女性議員の現状の視点として

会議規則に出産が欠席事由として規定されていなくて産前産後の期間の明記もない。議会の運営も夜9時・10時になり子育てと議員の両立は厳しかつた。現在は2015年女性活躍推進法施行や政治分野における男女共同参画推進法の施行により、家庭生活との円滑に両立が図れるようになってきた。出産議員ネットワークがあり、出産に伴う議会の欠席・子の看護休暇・配偶者出産等休暇の環境整備に対し、議員の位置づけを明確に、若年層や女性に配慮した会議規則の改正が必要。

小林 雄二 氏（周南市議会議長）

「議会改革」

目標として、「市民により開かれた市議会」議会活動への市民参画を促す。市議会に関心をもってもらおう。など、キーワードは公開と対話。

◆ 行政監視機能の充実

（1）所管事務調査の積極的な活用

各常任委員会が所管事務調査を活用して、開会中はもちろんの

こと閉会中においても市政における重要案件（特定事件）について積極的に調査を行い、執行機関の監視と効率的・効率的な事務執行を促している。

（２）所管事務調査による「指定管理者制度に関する調査」の実施

（３）その他（「100 条委員会」の開催）

所感

現在、自治基本条例制定（2019 年 8 月 1 日）377 自治体。議会基本条例制定（2019 年 4 月 1 日）877 自治体。議会基本条例制定されてから 10 年が経過した。「情報公開」「住民参加」「議会機能強化」の 3 項目において評価されてランキング発表される。議会改革の重要性は首長に対峙する機関として議会を重視する。議員は、専門の知識を身につけて議論をし議会の存在意義を向上させる。情報公開や住民との意見交換対話する機会をできるだけ設ける。住民の多様な意見を聞き政策立案ができる議会の方向性に向かっていかなければいけない。